

羽ばたけ
大空へ

蒼天

財団
月報

体操競技部 杉野正堯さん 豊田国際体操競技大会で 金メダル獲得!!

12月9日〜10日、スカイホール豊田（愛知県）で行われた2017豊田国際体操競技大会に日本代表として出場した鹿屋体育大学体操競技部の杉野正堯さん（スポーツ総合課程1年）が、種目別のあん馬で金メダルを獲得しました。

白井健三選手（日本体育大学）をはじめ、オリンピックや世界選手権で活躍した海外選手も参加した今大会。初出場の杉野さんは長い手足を生かした演技で観客を魅了し、14・850の高得点で今大会初優勝を果たしました。

「2017年最後の大会なので良い締めくくりができるように」という気持ちで大会に臨んだと



いう杉野さん。大会後、「素直に嬉しい気持ちでいっぱいです。来年につなげられた優勝だと思うので、さらに成長できるように頑張りたい。今年度は世界選手権の代表候補で終わったので、来年はさらなる活躍が期待されます。」

編集・発行／
公益財団法人 鹿屋体育大学
体育・スポーツ振興教育財団
〒891-2393 鹿屋市白水町1番地
鹿屋体育大学内
0994-46-4827（直）
編集兼発行人 風呂井 敬

橋本優弥さん、OB 橋本英也さん ワールドカップで メダル獲得!

自転車競技部

12月9日〜10日、自転車ワールドカップ2017-18 UCIトラックワールドカップ第4戦がチリのサンティアゴで行われ、鹿屋体育大学自転車競技部の橋本優弥さん（スポーツ総合課程2年）がメンバーとして出場した日本女子団体追い抜きチームが銅メダルを獲得しました。

橋本優弥さんは、11月に行われた同ワールドカップ第2戦での銅メダルに続く快挙となりました。

9日の予選を、3位で通過した日本女子チームは、10日に行われた3位決定戦で中国と対戦。序盤リードを奪われるものの徐々に追い上げ、最後の2周ほどで逆転。最終的には5秒ほどの大差をつけ、中国を下しました。

また、同大会の男子オムニアムに出場した同大学自転車競技部OBの橋本英也さん（2016年3月卒業、日本競輪学校）



KEIRIN MAGAZINE 向かって一番左が橋本優弥さん

は、銀メダルを獲得。同種目でのメダル獲得は日本史上初の快挙となりました。4種目の総合得点で順位を争うオムニアム。スクラッチ、テンポレース、エリミネーションの3種目で2位となった橋本英也さんは、最終種目のポイントレースでもトップ争いを演じ、惜しくも総合1位には届かなかったものの、総合2位で見事銀メダル獲得となりました。

松田天馬さん Jリーグ湘南ベルマーレへの 加入内定記者会見を実施

サッカー部

12月25日、鹿屋体育大学サッカー部、松田天馬さん（スポーツ総合課程4年）の、日本プロサッカーリーグ（Jリーグ）湘南ベルマーレへの加入内定記者会見が実施されました。

松田さんは、1年生の時からチームの中心選手として活躍。昨年8月に開催されたユニバーシアードの日本代表ではエースナンバーである背番号10を背負い、金メダル獲得に貢献しました。

今後のさらなる飛躍を期待して応援よろしくお願いたします。

◆本人コメント
湘南ベルマーレという素晴らしいチームに入団できたのも、周りの皆さんのサポートのおかげです。

豊富な運動量と得点に絡むプレー、攻撃にリズムを与えるプレーなど、自分の長所をいかしてチームに貢献し、一日も早くサポーターに愛される選手になりたい。

選手として学び続けること、サッカーを楽しむことを忘れずにがんばります。



この頃の時、運動が苦手だった。運動会の前日は「明日は雨が降れば良いのに...」と思うようなことだった。足が遅く、体力もなく、身体もあまり強い方でもない、そんなこともあった。そんな私が、紆余曲折の末、鹿屋体育大学で働いているのだから、たまたま驚くことだろう。

▼鹿屋体育大学はその名に恥じず、屋内外の運動施設が充実しており、学生はもとより大学で働く者も老若男女問わず、運動を楽しむ者が少なくない。かくいう私も今は運動を楽しんでいる1人であり、20年以上にわたり親しんできた。その甲斐あってか、この頃より体力がついたように思え（足は遅いままだが）、同年代の人よりも動ける中年（おじさん）であると自負している。

▼この頃には比べて運動の楽しさ、素晴らしさを学び知ることができた。体育大学で働く者として、それらを伝えることも重要ではないかと思う。伝える相手は友人、知人色々あるがやはり一番は家族であろう。

幸い私のことも達は（私のことも時代には似ず）運動が苦手ではないようでホッとしている。しかし、いつか孫が生まれ、この頃の私に似て運動が苦手であつたら、身を以て運動の楽しさ、素晴らしさを伝えたいと思う。その日に向けて、動けるおじいちゃんであるために、今後も運動を続けていきたい。

(T・H)



あなたと一緒に。
来る日も来る日も、練習に打ち込んだ。何度か壁を打ち破ってきた。そんなあなたを、誰より一番近くで見つけてきたから。
あなたがあんなに涙した理由も、あなたがあんなに笑顔を見せた理由も、わたしにはわかる。
成功の陰に失敗は尽きない。それでも。
明日は、きっと、できる。
そうあなたが自分を信じてわたしを手にする限り、あなたと一緒に挑みたい。

就職支援行事は後期も実施中

10月から後期に入り、鹿屋体育大学キャリア形成支援室では就職支援会社の協力による様々なセミナーや各学年に応じた就職支援行事を企画しており、学生は積極的に参加しています。

そんな中、11月21日には1～3年生を対象に「第2回就職ガイダンス」を、12月9・10日には主に3年生を対象に「第1回就職塾」が開催されました。

「第2回就職ガイダンス」では、6月に開催された第1回就職ガイダンス同様、学年ごとに見合った講話が行われました。1年生コースでも、キャリアアカウン



ガイダンス座談会の様子



熱心に取り組む就職塾の様子

「第1回就職塾」は、毎年この時期に開催されており、就職活動のみならず、卒業後の働き方についても「気づき」を得る良い機会として、大変好評を得ています。今回も、キャリアアカウン

「第1回就職塾」は、受講した学生からは「考え方を覚えることで、自身の特徴を知ることができた」といった感想がありました。

同窓生と鹿屋体育大学との情報交換会を関西で開催!

1月20日、鹿屋体育大学の同窓生と教職員や退職者等多方面における関係者との情報交換会が開催されました。

この情報交換会は、同窓生と大学関係者とが意見交換や情報交換を行うことにより今後の大学運営や在学生、同窓生への支援等に生かすとともに、積極的な今後の交流を図ることを目的に同窓会と同大学が連携して開催したものです。3回目となった今回は、リーガロイヤルホテルNCB(大阪市)で開催され、関西在住の同窓生を中心に約40名の参加がありました。



松下雅雄学長からの挨拶



活発な意見がとびかった情報交換会の風景

新たな修学支援事業基金を設立 学生への経済的支援充実へ

鹿屋体育大学では、経済的理由で修学が困難な学生への支援を目的に、「国立大学法人鹿屋体育大学修学支援基金」を新設し、集めた寄附金を修学支援として授業料、入学料等の免除に充当する事業を開始しました。

同大学では、これまで経済的理由で授業料等の納付が困難な学生への減免・納付猶予措置や独自の奨学金給付等を行ってききましたが、平成28年税制改正により、個人が一定要件を満たした国立大

鹿屋体育大学では、経済学法人(寄附修学支援)の理由で修学が困難な学生への支援を目的に、「国立大学法人鹿屋体育大学修学支援基金」を新設し、集めた寄附金を修学支援として授業料、入学料等の免除に充当する事業を開始しました。

同大学では、これまで経済的理由で授業料等の納付が困難な学生への減免・納付猶予措置や独自の奨学金給付等を行ってききましたが、平成28年税制改正により、個人が一定要件を満たした国立大

自転車競技部 韓国体育大学自転車競技部と合同合宿交流事業を実施!

12月22日(27日)、鹿屋体育大学と国際交流協定を締結している韓国体育大学自転車競技部15名が鹿屋体育大学を訪れ、両大学の自転車競技部で合同合宿交流事業を行いました。本事業は、同部員同士の交流と競技力向上を目的として実施し、今回で6回目。

韓国体育大学は、ソウルの大都会にあるスポーツエリート育成校で、自転車競技場で走る短距離種目に基軸をおいたトレーニングを行っています。一方、鹿屋体育大学は、恵まれた環境を活かしたトレーニングで長距離種目も得意としているため、合同合宿を行うことによりお互いの良さを吸収し、切磋琢磨で

12月22日(27日)、鹿屋体育大学と国際交流協定を締結している韓国体育大学自転車競技部15名が鹿屋体育大学を訪れ、両大学の自転車競技部で合同合宿交流事業を行いました。本事業は、同部員同士の交流と競技力向上を目的として実施し、今回で6回目。

韓国体育大学は、ソウルの大都会にあるスポーツエリート育成校で、自転車競技場で走る短距離種目に基軸をおいたトレーニングを行っています。一方、鹿屋体育大学は、恵まれた環境を活かしたトレーニングで長距離種目も得意としているため、合同合宿を行うことによりお互いの良さを吸収し、切磋琢磨で

韓国体育大学は、ソウルの大都会にあるスポーツエリート育成校で、自転車競技場で走る短距離種目に基軸をおいたトレーニングを行っています。一方、鹿屋体育大学は、恵まれた環境を活かしたトレーニングで長距離種目も得意としているため、合同合宿を行うことによりお互いの良さを吸収し、切磋琢磨で

また、12月26日には鹿屋体育大学の松下雅雄学長を



大型二種免許から大型二輪免許まで取得可能です

送迎バスもご利用できます

入校日 毎週水曜日・土曜日 AM 8:30~9:00 PM 1:00~1:20

〒893-0057 鹿屋市今坂町10115番地 電話(0994)43-4141

KANOYA DRIVING SCHOOL 鹿屋自動車学校

すべての消費者のために!!

MOVE It's your Future 寿スポーツ

〒894-44-2123 鹿屋市礼元1丁目3番5号 TEL 0994-44-2123

バス 自乗車 学校 鹿屋 農業高校 寿スポーツ

Kubota 農業機械 株式会社 三ツ木商会

http://www.mizuho.kubota.ne.jp

〒893-0009 鹿児島県鹿屋市大手町12番1号 TEL (0994) 43-4178 FAX (0994) 44-9371

【営業所】 鹿屋・高山・志布志・岩川・牧之原・野方・垂水・大根占

あなたの町に、レモンガス

株式会社レモンガスかこしま 鹿屋支店

鹿屋市大浦町11423番地1 0994-42-2181

硬式野球部

野球教室を開催

12月10日と17日、鹿屋体育大学において、野球を通して小中学生と交流することで双方の技術と野球に対する意識の向上を図り、鹿児島県野球界の振興に寄与することを目的とした野球教室が同大学硬式野球部の主催で開催されました。

10日には中学校野球部17校総勢175人、17日にはスポーツ少年団に所属する小学生85名が参加しました。当日は、12月の冷たい風が吹く中にもかかわらず大勢のかけ声や声援がグラウンド等に響き渡りました。



10日の集合写真



17日の集合写真

教室は、全て鹿屋体育大学硬式野球部員が進行・運営し、参加者一人一人への細やかな指導が行われました。中でも、スポーツパフォーマンス研究棟での球速測定やベースランニング、スイングの分析などの各種測定は、数字や視覚的に各自のプレーを確認できた貴重な体験となりました。

参加者は「大学生はわかりやすく、的確に教えてくれた、この教室に教えるのは難しい。一人でも本学に入学して欲しいことが楽しみ」といった感想が聞かれ、双方にとって大変有意義な時間となりました。

大学入試センター試験を実施

本格的な入試シーズン開幕となる大学入試センター試験が1月13日、14日の2日間、全国695会場で実施され、鹿屋体育大学では500人近くが受験しました。今年志願者数は昨年より1.2%多い58万2671人で、センター試験を利用する大学は、過去最多となりました。

この冬一番の強い寒波の影響で2日間とも大変冷え込みましたが、トラブル等もなく試験は無事終了しました。

なお、国立大学の2次試験となる一般入試の出願受付も始まりました。鹿屋体育大学では前日程となる2月25日、26日の2日間試験が行われます。

留学生が地域の小中学校で先生として活躍

鹿屋体育大学では、公益財団法人鹿児島県国際交流協会が実施している「協力隊OBと留学生が先生」見える。学べる。世界の国々」事業に、留学生を派遣しました。

この事業は、青年海外協力隊OBや県内の大学に在籍している留学生が自身の体験や母国について語ることで国際協力や異文化交流などについて理解を深めてもらうことを目的とし、実施されているものです。

平成29年度は、同大学の小中学校を中心に、垂水市立椋原小学校に国立体育大学（台湾）からの交換留学生郭述柔（カク シュウジュウ）さんを、南大隅町立根占中学校に韓国体育大学校からの交換留学生金建東（キム ゴンドン）さんを派遣しました。それぞれ、母国

コンプライアンス及び個人情報保護に関する研修を開催

鹿屋体育大学では、12月21日に教職員に対し、コンプライアンスに対する意識を醸成すること、厳格な保有個人情報への取扱い及び公文書管理の取扱い及び日常業務管理の取扱いの高揚を図ることを目的とした「コンプライアンス及び個人情報保護に関する研修」を実施しました。

講師は、同大学の財務監査を6年間にわたり請負っている有責任監査法人トーマツのアドバイザリー事業本部の小峰英篤氏。

小峰氏は、小さな違反も適切に取り扱うことや内部統制の欠如は不正を誘発すること、また、平成29年5月に改正された個人情報保護法について詳細を講演され、参加した教職員からは「日頃の心がけを更に強める良い機会となった」等の意見をはじめ、日常業務のなかでの個人情報の取扱いについての質問が出るなど有意義な研修となりました。

の文化や習慣について日本との違いや共通点、母国の名所、食文化、子供の遊び等を紹介するとともに、母国と日本の関係などについて発表を行いました。子供達からは、「言葉や遊びについてもっと知りたい」「世界の役に立てるような人になりたい」「様々な国の人と交流したい」などの意見があり、異文化理解だけでなく、新たな気付きの機会となりました。

今後、中国出身のスポーツ総合課程1年生の叢璋（ソウイ）さんと上海体育学院（中国）からの交換留学生黄娟（コウジュエン）さんを鹿屋市立東原小学校へ、国立体育大学（台湾）からの交換留学生連軒逸（レンシエンイー）さんを曾於市立岩川小学校へ派遣予定です。



郭さんの授業風景



金さんの授業風景

課外活動団体紹介



ラグビー部

私たちラグビー部は、鹿屋市の社会人ラグビーチーム「鹿屋ウォンパツ」に参加し、春と秋に行われる県社会人リーグおよび県社会人7人制大会に出場しています。7人制の大会では、ここ数年他の部活を引退した学生も一緒に参加し、活躍しています。近年のラグビーブームにより、本学ラグビー部においても未経験者が数名加入し、公式戦でトライを取るなど活躍しています。2017年に開催された第54回南日本新聞社旗争奪（後期）鹿児島県社会人ラグビーフットボール大会では、鹿屋ウォンパツと合同で参加し、1部リーグで4位という成績でした。これからも、経験・未経験者問わず、鹿屋体育大学ラグビー部では新規参加者を募集しております。

2019年にはW杯（15人制）、2020年にはオリンピック（7人制、男女とも）が日本で開催される今、ラグビーを体験してみませんか？自分の競

技特性を活かせるポジションも沢山あります！是非、見学、体験にお越しください。ラグビー部は、いつでも誰でもウェルカムです。

大学での練習は、週3回、火曜、水曜、木曜の午後4時から大学のラグビー場で実施しており、日曜日は、鹿屋いこいの森グラウンドで「鹿屋ウォンパツ」に参加して練習しています。練習内容では、初心者の方も参加しやすいようなハンドリングやタッチフットがメインです。また、ラグビーの醍醐味であるタックルの練習も行っています。

そのほか、大学ラグビーの主流は、15人制ラグビーなので、鹿屋体育大学の学生で部活に加入していない学生、他の部活を既に引退した学生など、ラグビーをやってみようという意思のある方は、是非ラグビー部の練習の見学に来てください。また、女子のラグビー部員に関しても昨年同様募集しています。

汲取の御注文 浄化槽の管理

N

水質保全に 全力投球

鹿屋市 株式会社 西日本浄化サービス
代表取締役 田中ふみ子
鹿屋市王子町4531-2
TEL (0994) 43-3425

寿自動車学校

心豊かな車社会を願う
運転免許のことなら

TEL 0994-43-2627 E-mail: info@kotobuki-ds.jp

〒893-0013 鹿児島県鹿屋市礼元1-13-30 県公安委員会指定教習所[技能試験免除]
ホームページURL http://kotobuki-ds.jp

まっすぐに。正直に。

大湊酒造株式会社

〒893-0016 鹿児島県鹿屋市白崎町21番1号
電話 (0994) 44-2190 FAX (0994) 40-0950

○未成年の飲酒は法律で禁じられています。
○健康の為、飲み過ぎに注意しましょう。
○妊娠中、授乳期の飲酒はお控えください。
○飲酒運転は絶対にやめましょう。

スポーツパフォーマンス研究棟だより

第12回

スポーツパフォーマンス研究棟を活用した授業の紹介

(前田明学長補佐)

本学では、体育学部1年生対象の専門科目「体育学実験I」としてスポーツサイエンスの基本的な学問である「生理学」、「バイオメカニクス」、「衛生・公衆衛生学」、「栄養学」、「心理学」の各分野における基礎的な実験を行い、その測定技術を習得するとともに、測定値を評価する基礎理論の学習を目指す授業を行っています。なかでも前田明教授の担当授業である「バイオメカニクス」分野については、スポーツパフォーマンス研究棟でモーションキャプチャーのセットアップやアシリート役の学生に反射マーカーを付けてフォースプレート上で垂直跳やサッカーのヘディング動作、キック動作の測定を行う三次元動作分析を実施しました。学部1年生から最新機器を用いた実習ができるのも少数の教育が可能である本学の強みであるといえます。



授業の様子

このように、授業にもスポーツパフォーマンス研究棟は活用され、また、ゼミや学生の論文作成等の実験にも活用されています。

(スポーツパフォーマンス研究棟ホームページは<http://splaab.nits-k.ac.jp/>)

鹿屋市との連携協議会を開催

鹿屋体育大学では、12月11日に鹿屋市との連携協議会を開催しました。

この連携協議会は、同大学と鹿屋市との連携に関する協定書に基づいて持ち回りで開催されており、今回は鹿屋市役所において実施。大学からは松下雅雄学長、金久博昭理事、原田耕蔵理事が出席、市からは中西茂市長及び原口学副市長が出席し、大学と市が連携して実施している様々な事業内容について意見交換が行われました。

連携協議会では、「スポーツ合宿まちづくり推進事業」に関してプロ選手等による合宿等の実施

状況が、「東京オリンピック・パラリンピック事前キャンプ誘致事業」に関する各国の競技団体に対する誘致活動の進捗状況及び今後の展望について報告されました。また、「日本版NCAA KANON YAMODEL」の活動報告として、同大学で実施された九州大学サッカーリーグ及びプロバスケットボール公式戦の応援イベントの実施状況や、今後の事業実施予定等についても報告されました。併せて、鹿屋市内の中高校生を対象に、同大学教職員の手導を元に実施されている運動サークルの活

動状況について報告されたほか、高齢者の介護予防を目的とした運動指導の実施について鹿屋市側から提案が出されるなど、活発な意見交換が行われ、大変有意義な協議会となりました。

ありがとうございます

賛助会費は、奨学金、国際交流、学内研修等に利用させていただきます。心から感謝申し上げます。

《一般》
カイコー(株)様

(三万円)

NHK放送「ひるプラ」に取り上げられました！

1月22日放送のNHK「ひるプラ」(平日午後12時20分~午後12時45分放送)で鹿屋体育大学が取り上げられました。

「ひるプラ」は、番組リポーターが全国各地の様々な場所をブラリと訪れ、四季折々、地域の魅力をダイレクトに届ける番組です。

このたび取り上げられたのは、スポーツパフォーマンス研究棟、屋内実験プールといった研究施設と、本学を基盤とする総合型地域スポーツクラブ「NIFSスポーツクラブ」の貯筋サークル。

リポーターとして、元陸上競技・やり投げの選手で全日本学生選手権や国体で準優勝の経歴をもつタレント照英さんが、実際にモーションキャプチャーやフォースプレート、球質測定システム、オブジェクトトラッキングシステムによる測定を体験。その場でわかる科学的分析データに「自分の学生時代にこ

んな機器があったら」と驚きを隠せない様子でした。

今回の放送を通して、全国に同大学の取組や魅力を伝えることができ、また、撮影に協力した学生らにとっても、生放送番組が作られる過程を身をもって経験できた貴重な機会となりました。



出演準備中の照英さん

闘いの記録 12月

【テニス】
◆平成29年度全日本学生室内テニス選手権大会 (11/26~12/3 大阪/江坂テニスセンター)
▽女子 シングルス ベスト8 今村 風沙

【体操競技】
◆2017豊田国際体操競技大会 (12/9~10 愛知/スカイホール豊田)
▽男子 種目別 あん馬 優勝 杉野 正亮

【水泳】
◆第23回冬季短水路公認記録会 (12/17 福岡/福岡市総合西市民プール)
▽男子

100m自由形	2位	古賀 圭一郎
200m自由形	2位	小林 祐馬
400m自由形	1位	小林 祐馬
	2位	野崎 充
	3位	佐貫 省吾
1500m自由形	1位	小林 祐馬
	2位	野崎 充

100m背泳ぎ	2位	富田 修平
200m背泳ぎ	2位	黒川 真吾
50m平泳ぎ	3位	田淵 寛大
100m平泳ぎ	2位	脇園 樹寛大
	3位	田淵 樹寛大
200m平泳ぎ	1位	脇園 樹寛大
	3位	田淵 樹寛大

100mバタフライ	2位	野崎 充
200m個人メドレー	1位	古賀 圭一郎
400m個人メドレー	1位	田崎 竜成

50m自由形	3位	大木場 真由
100m自由形	1位	石原 愛由
200m自由形	1位	石原 愛由
400m自由形	1位	川崎 碧
	2位	小川 真侑
	1位	川崎 碧
800m自由形	1位	川崎 真侑
	2位	小川 真侑
50m背泳ぎ	1位	山口 藍李
	2位	川崎 涼夏
	2位	川崎 涼夏
	1位	川崎 涼夏
	2位	山口 藍李
	2位	五十嵐 陽美
200m平泳ぎ	2位	五十嵐 陽美
50mバタフライ	1位	小林 瑠那
100mバタフライ	1位	小林 瑠那

200mバタフライ	1位	大木場 真由
	2位	小林 瑠那
200mフリーリレー	2位	大木場 真由
		石原、川崎
		大木場、木原
200mメドレーリレー	2位	川崎、石原、大木場、木原

【剣道】
◆第12回全日本学生剣道オープン大会 (12/16~17 広島/広島グリーンアリーナ)
▽男子 参段以上の部 2位 内橋 響希

【ウインドサーフィン】
◆2017年度全九州学生ボードセーリング選手権冬季大会 (12/2~3 福岡/福岡海岸)
▽男子 テクノ293 エキスパート男子 1位 由里 亮太
ビギナー男子 1位 黒岩 将希
ビギナー男子 3位 今井 敦暉
▽女子 テクノ293 エキスパート女子 1位 石塚 智菜実

学内行事 3月

- 8日 大学院修士課程第2次募集入試
- 9日 大学院博士後期課程第2次募集入試
- 11日 春期休業 (~31日)
- 18日 大学説明会 (東京サテライトキャンパス)
- 23日 卒業証書・学位授与式

闘いのスケジュール 3月

- 2日・2017年度全日本学生ボードセーリング選手権 団体戦 (~5 和歌山/和歌山セーリングセンター)
- 4日・第24回九州学生短水路公認記録会 (福岡/福岡市総合西市民プール)
・第60回九州柔道選手権大会 (福岡/福岡武道館)
- 8日・2017年度全日本学生ボードセーリング選手権 新人戦 (~10 静岡/浜名湖)
・2018年九州学生新進テニストーナメント (~18 福岡/春日公園テニスコート他)
- 11日・第12回明治神宮外苑大学クリテリウム (東京/明治神宮外苑)
- 15日・九州新人学生ヨット選手権大会 (団体戦) (~18 長崎)
- 17日・九州チャレンジサイクルロードレース2018 (~18 熊本/五木村)
- 27日・2018カヌースプリント 海外派遣選手選考会 (~31 香川/府中湖カヌー競技場)

皆様の声をお聞かせください!!

月報「蒼天」、鹿屋体育大学のホームページ、Twitter、Facebookで発信している鹿屋体育大学の情報 (広報活動) へのご意見をお聞かせください。



ご協力は左記のQRコードより簡単な選択型アンケートとなっております。

お待ちしております。
URL : <https://goo.gl/forms/vfGDcplBPO0g8QcW2>
アンケート回答期間:平成30年3月31日

